

(仮称) 木曾川右岸道路 (南部ルート) 建設事業に係る令和 5 年度事後調査  
報告書の概要

## 2 (仮称) 木曾川右岸道路 (南部ルート) 建設事業

### (1) 事業の概要

① 事業者	長野県、上松町、南木曾町、大桑村
② 事業実施区域	上松町、南木曾町、大桑村 (～岐阜県中津川市)
③ 事業の内容	道路の建設
④ 事業の規模	車線数：2、延長：約 22km (うち森林の区域等約 11～15km)
⑤ 条例該当	第 2 種事業
⑥ 関係地域	上松町、南木曾町、大桑村 (～岐阜県中津川市)

### (2) 事業の経過

H15. 3	環境影響評価方法書公告
H17. 11	環境影響評価準備書公告
H18. 8	環境影響評価書公告
H19	対象事業着手

### (3) 事後調査報告書の概要

- 以下の項目に係る調査結果等を報告。

ブロック	区間	工事状況	調査項目
登玉～殿	ABC共通区間	供用済み	植物
野尻向～柿其	E案	工事中	生態系
	野尻向DE共通区間、柿基DE共通区間	一部工事前	植物
沼田～山口	FG共通区間	一部工事前	植物
		一部供用済み	植物、生態系

- 植物

- ・ササユリ (ABC共通区間)

年度	調査内容・環境保全措置	備考
H27～R3	・移植、播種及びモニタリング等	・移植 (H27) の活着率は0% (H27～H30)。 ・播種をR1、R2に実施したが、R3時点で発芽未確認。
R4	・播種地のメンテナンス ・播種後のモニタリング	・播種地(R1)で2株、再播種地(R2)で200株以上を確認。 ・有識者へのヒアリングを実施。
R5	・播種地のメンテナンス ・播種後のモニタリング	・播種地(R1)で1株、再播種地(R2)で300株以上を確認

※播種の成果が確認されているため、事後調査計画どおりR5で調査終了

- ・ウマノスズクサ、キクモ等 (野尻向DE共通区間) ※工事着手前の調査

種名	調査結果
ウマノスズクサ	・評価書 (H18) と同じ場所で複数株の生育を確認
ヒメシャガ	
カヤラン	
ササユリ	
キクモ	・評価書では1株が確認されていたが、今回の調査では未確認。 ・工事着手前であり、その他大きな環境の改変も見られないことから、人為的な影響ではないと推測。

- ・オオハナワラビ（柿其DE共通区間） ※工事着手前の調査

R4年度調査で生育未確認だったため、調査時期を遅くして再調査。今回も未確認だったが、近縁種のコノハナワラビは複数株確認され、オオハナワラビの生育環境は維持されていると推測。

- ・エビネ、ヒメシヤガ（FG共通区間）

種名	調査結果
エビネ	・評価書では2株が確認されていたが、今回の調査では未確認。 ・工事着手前であり、その他大きな環境の改変も見られないことから、人為的な影響ではないと推測。 ※工事着手前の調査
ヒメシヤガ	・評価書と同じ場所で複数株の生育を確認。 ※供用後の調査

○ 生態系

- ・FG共通区間において、移動経路として橋梁直下を利用する種を調査。センサーカメラでは、わらび沢大橋で11種（延べ187個体）、ませの洞橋で10種（延べ239個体）の利用を確認。
- ・クマタカ（阿寺地域：E案）について、行動圏及び繁殖状況を確認するための調査を実施。令和5年は餌運搬や幼鳥が確認されたことにより繁殖の成功が確認された。